



平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 株式会社ピクセラ 上場取引所 東  
 コード番号 6731 URL http://www.pixela.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤岡 浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 池本 敬太 (TEL) 06(6633)3500  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第1四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第1四半期	621	△43.1	△336	—	△365	—	△408	—
25年9月期第1四半期	1,092	△37.5	△154	—	△187	—	△189	—

(注) 包括利益 26年9月期第1四半期 △407百万円(—%) 25年9月期第1四半期 △189百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第1四半期	△34 59	—
25年9月期第1四半期	△17 37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第1四半期	1,190	△223	△18.9
25年9月期	1,445	25	1.5

(参考) 自己資本 26年9月期第1四半期 △225百万円 25年9月期 21百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0 00	—	0 00	0 00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	0 00	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,327	7.1	54	—	32	—	28	—	2 58
通期	5,307	42.7	357	—	315	—	307	—	28 02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期1Q	12,299,100株	25年9月期	11,103,800株
26年9月期1Q	118,712株	25年9月期	118,712株
26年9月期1Q	11,917,084株	25年9月期1Q	10,915,388株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(4) 重要な後発事象	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は6億21百万円（前年同期比43.1%減）、営業損失3億36百万円（前年同期は営業損失1億54百万円）、経常損失3億65百万円（前年同期は経常損失1億87百万円）となりました。また、製造委託先の変更に伴う業務委託契約解消損41百万円を特別損失に計上したため、四半期純損失4億8百万円（前年同期は四半期純損失1億89百万円）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

## 〔ホームAV事業〕

ワイヤレステレビチューナーは、回線事業者向けを中心に堅調に推移しましたが、CATV向けのIP-VOD端末は、供給体制が整ったものの現時点では未だ一部事業者に採用されているのみであるため、収益への貢献はわずかに留まりました。また、フルセグ放送視聴アプリケーションは、複数のメーカーの計4機種に搭載されたものの、これら機種の販売が振るわずロイヤルティ収入が落ち込みました。

これらの結果、売上高は3億68百万円（前年同期比10.0%減）、セグメント損失（営業損失）は70百万円（前年同期はセグメント損失85百万円）となりました。

## 〔パソコン関連事業〕

パソコン向けテレビキャプチャー及び付随するテレビ視聴ソフトウェアのOEM販売は、搭載される個人向けパソコンの需要が引き続き低迷しているため、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は1億25百万円（前年同期比76.7%減）、セグメント損失（営業損失）は76百万円（前年同期はセグメント利益82百万円）となりました。

## 〔AVソフトウェア事業〕

ビデオカメラ向けの画像編集アプリケーションは、パソコンからスマートフォンやタブレット用へ展開を図っているものの、ビデオカメラの需要低下が続き減収減益となりました。

この結果、売上高は13百万円（前年同期比66.8%減）、セグメント損失（営業損失）は13百万円（前年同期はセグメント利益0百万円）となりました。

## 〔その他〕

光触媒塗料関連では、ビル外壁等へのコーティング施工案件が増加し、売上高は1億14百万円（前年同期比10.6%増）、セグメント利益は5百万円（前年同期はセグメント損失7百万円）となりました。

(注) 各セグメントのセグメント利益（営業利益）は、「セグメント情報」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用1億82百万円を配分する前の金額であります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (総資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億54百万円減少し、11億90百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1億33百万円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、14億13百万円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金が1億7百万円減少し、役員からの借入金が増加したことなどによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2億48百万円減少し、2億23百万円の債務超過となりました。これは新株予約権の行使により資本金及び資本準備金が1億61百万円増加したものの、これを上回る四半期純損失を計上したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において2期連続の営業損失を計上し、さらに当第1四半期連結累計期間において3億36百万円の営業損失を計上し、また純資産についても2億23百万円の債務超過となっていることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社ではこのような状況を解消するため、以下の取組みを実施しております。

社内の開発リソースを個人向けから法人向け製品に重点的に配分し、安定した収益が見込める法人向け事業中心の事業展開へ転換を図っております。

その結果、回線事業者向けのワイヤレスチューナーやCATV局向けのVOD（Video On Demand）端末の継続的な販売が実現し、さらにVOD端末につきましては、2014年4月から開始される「スマートテレビ」サービスの専用端末に採用されることが決定いたしました。このサービスは、CATV局を通じてネット動画やゲームなどを自宅のテレビに配信するもので、2014年度中にCATV会社30局、5年後までに150局との契約を目指すこととなっていることから、本製品が今後長期に渡って収益に貢献するものと考えております。引き続きこのような法人向け案件の獲得に注力し、収益基盤の安定化を図るとともに、役員報酬の減額を含む人件費を中心とした固定費の削減を進めてまいります。

一方、資金面では、平成25年7月25日に発行いたしました新株予約権の行使が順調に進み、当第1四半期連結累計期間において約1億59百万円を調達いたしました。これらの資金は順次、開発費等の運転資金に充当しており、なお資金繰りに支障がある場合には、当社代表取締役からの資金の拠出を予定しております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	278,324	144,569
受取手形及び売掛金	※ 482,802	※ 472,797
商品及び製品	139,551	94,860
仕掛品	36,755	28,393
原材料及び貯蔵品	87,095	81,994
その他	68,789	49,629
貸倒引当金	△237	△232
流動資産合計	1,093,080	872,012
固定資産		
有形固定資産	140,868	130,814
無形固定資産		
ソフトウェア	14,526	13,074
電話加入権	817	817
その他	—	73
無形固定資産合計	15,343	13,965
投資その他の資産		
投資有価証券	79,044	72,058
営業保証金	18,279	—
保険積立金	3,763	3,803
敷金	80,256	80,256
その他	18,069	21,699
貸倒引当金	△8,100	△8,100
投資その他の資産合計	191,312	169,717
固定資産合計	347,524	314,496
繰延資産		
新株予約権発行費	4,674	4,007
繰延資産合計	4,674	4,007
資産合計	1,445,280	1,190,516

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	569,749	462,508
短期借入金	227,980	234,500
役員からの短期借入金	52,393	132,190
1年内返済予定の長期借入金	127,061	119,725
未払金	72,436	96,907
未払費用	92,288	89,716
未払法人税等	11,785	1,938
未払消費税等	22,840	4,665
賞与引当金	—	19,115
その他	11,397	39,136
流動負債合計	1,187,931	1,200,402
固定負債		
長期借入金	188,840	169,982
資産除去債務	30,511	30,530
繰延税金負債	11,914	11,953
長期預り保証金	1,000	1,000
固定負債合計	232,266	213,465
負債合計	1,420,197	1,413,867
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,105,798	1,186,420
資本剰余金	4,507	85,129
利益剰余金	△952,409	△1,360,536
自己株式	△125,038	△125,038
株主資本合計	32,858	△214,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,642	△11,435
その他の包括利益累計額合計	△11,642	△11,435
新株予約権	3,866	2,109
純資産合計	25,082	△223,351
負債純資産合計	1,445,280	1,190,516

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,092,117	621,595
売上原価	907,833	636,561
売上総利益又は売上総損失(△)	184,283	△14,966
販売費及び一般管理費	338,837	321,951
営業損失(△)	△154,553	△336,917
営業外収益		
雑収入	12	12
営業外収益合計	12	12
営業外費用		
支払利息	4,575	2,427
為替差損	24,042	14,500
支払手数料	3,734	10,337
その他	507	938
営業外費用合計	32,859	28,203
経常損失(△)	△187,401	△365,108
特別損失		
業務委託契約解消損	—	41,120
特別損失合計	—	41,120
税金等調整前四半期純損失(△)	△187,401	△406,229
法人税、住民税及び事業税	2,250	1,938
法人税等調整額	△92	△28
法人税等合計	2,157	1,909
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△189,559	△408,139
四半期純損失(△)	△189,559	△408,139



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△189,559	△408,139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	376	207
その他の包括利益合計	376	207
四半期包括利益	△189,182	△407,931
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△189,182	△407,931
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

株主資本の著しい変動

当第一四半期連結累計期間において、行使価額修正条項付新株予約権付社債券等に係る新株予約権の行使により、資本金が80百万円、資本準備金が80百万円増加し、当第一四半期連結会計期間末において資本金が1,186百万円、資本剰余金が85百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ホームAV	パソコン関連	AVソフトウェア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	409,246	538,806	40,960	989,014	103,103	1,092,117
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	409,246	538,806	40,960	989,014	103,103	1,092,117
セグメント利益又は損失(△)	△85,237	82,448	△771	△3,560	△7,842	△11,403

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、光触媒塗料事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△3,560
「その他」の区分の利益	△7,842
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△143,150
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△154,553

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎研究費等であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ホームAV	パソコン関連	AVソフトウェア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	368,259	125,645	13,614	507,519	114,076	621,595
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	368,259	125,645	13,614	507,519	114,076	621,595
セグメント利益又は損失(△)	△70,279	△76,710	△13,461	△160,451	5,601	△154,850

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、光触媒塗料事業等を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△160,451
「その他」の区分の利益	5,601
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△182,066
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△336,917

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎研究費等であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (4) 重要な後発事象

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)

## 新株予約権の権利行使

当社が平成25年7月25日にマッコーリー・バンク・リミテッドに発行いたしました第5回新株予約権につき、平成26年1月1日から、平成26年2月13日までの間に以下のとおりその一部が行使されております。

行使新株予約権個数	625,000株
行使株式数	625,000株
行使価額総額	92,158,750円
未行使新株予約権個数	810,000株
増加する発行済株式数	625,000株
資本金増加額	46,079,375円
資本準備金増加額	46,079,375円